

# チンゲン菜に対する甘彩六花試験



## <試験概要>

- 試験場所 茨城県行方市
- 品種 夏双子
- 定植日 2016年7月17日 ・収穫日 2016年8月25日
- 散布方法 500倍希釈の葉面散布にて、収穫日より約1ヶ月前から4回散布
- 散布日 7月27日、8月3日、8月10日、8月17日
- 散布コスト 1反1回当たり原液を200ml(340円)使用×4回散布 1反当たりのコスト1,360円

## <サンプル採取方法>

- 採取場所 ランダム
- 測定箇所 葉・茎全部
- 試験測定日 2016年8月25日

## <試験結果>

### 糖度測定結果 (単位：%)

採取場所	1	2	3	4	5	平均
対照区	1.00	1.30	1.10	1.30	0.70	1.08
甘彩六花試験区	1.10	1.40	1.10	0.90	1.50	1.20

平均 **0.12%上昇**

### 硝酸値測定結果 (単位：ppm)

採取場所	1	2	3	4	5	平均
対照区	3,700	3,700	4,900	4,600	4,600	4,300
甘彩六花試験区	2,800	2,500	3,200	2,600	2,500	2,720

平均 **1580ppm減少**  
**36.7%減少**

### 重量測定結果 (単位：g) ※5株平均

採取場所	調整重量	根重量
対照区	84.8	4.5
甘彩六花試験区	117.4	5.6

**1.1g重い**  
**24.4%増加**

**調整重量**  
**平均38.4%増加！**

### 葉長 (単位：cm) および葉枚数

採取場所	葉長	葉枚数
対照区	23.8	11.6
甘彩六花試験区	26.0	11.0

**2.2cm長い**

### 葉色および各種土壌診断結果

採取場所	葉色	pH	EC	石灰	苦土	カリ	リン酸
	SPAD値	KCL抽出	mS		mg/100g		
対照区	30.9	6.33	1.08	943	165	153	350
甘彩六花試験区	34.8	6.41	0.849	977	179	184	390
増加量	3.9	0.08	-0.23	34	14	31	40

## <まとめ>

- 甘彩六花を散布することにより、**硝酸値の大幅な減少(約半減)**と**糖度が上昇**した。
- 糖と硝酸が結合して起こるアミノ酸生成が促進により、**重量の大幅な増加**を確認できた。枚数が若干少ないが、**葉が長く・大きく生育している**事が重量の増加になっていると考えられる。

左が対照区。 右が甘彩六花試験区。

